



日本瓦を撤去した状態。この上に防水シートを張り、新しい屋根材を取り付ける。



鉤の取付けが完了。鉤は昭和39年に製作されたもので100kgある。



4階部分。従来は四方の壁にあったが強度を高めるため2面をふさいだ。



旧鳥居記念博物館耐震改修工事のうち建築工事(その2) 場所…鳴門市撫養町林崎北殿町 工期…平成27年3月18日～平成28年2月頃



屋根の改修が終了した4階部分。



赤い部材が鉄骨耐震プレース。パーツを組み立てながら取り付けている。



工場にて鉄骨耐震プレースを製作中。

VU100
HI20T
SGP25A
VP50

設備材料を販売しております。

日曜日は朝8時より半日営業

日曜日も配管工事をお助けします。

徳島市佐古三番町5番22号
電話 088-654-7161



職場は地球

道路、トンネル、橋、堤防、ダム……。当たり前のように存在するもの向こうには必ず人の営みがある。
日常生活を支える職人たちの現場と軌跡を追う。



日本瓦だった屋根をステンレスの屋根材に改修し計量化。

妙見山の頂にそびえる旧鳥居記念博物館を耐震化、
住民を災害から守る防災施設へ

旧鳥居記念博物館耐震改修工事



旧鳥居記念博物館の耐震化工事を担当する亀井組と現場の職人、鳴門市の担当職員のみなさん。